

媒体データパスワード設定プログラム
操作説明書

(第1.01版)

平成30年10月

変更履歴

版数	変更年月日	分類	変更頁	変更内容
1.00	2016/1	新規	—	1.00 版制定
1.01	2018/10	追加	1、5、7	Windows 10 の動作保証を追加

目次

第1章	はじめに	1
1.	パソコンの動作環境	1
	(1) ハードウェア環境	1
	(2) ソフトウェア環境	1
	(3) その他	2
2.	ご利用方法	3
	(1) インストールする	3
	(2) アンインストールする	5
	(3) 起動と終了	8
	(4) その他	8
第2章	媒体データパスワード設定の流れ	9
1.	媒体データパスワード設定の流れ	9
第3章	媒体データを暗号化する	10
1.	暗号化の対象ファイル	10
2.	各項目を入力する	11
3.	暗号化を実行する	14
第4章	こんなときは	16
1.	Q&A	16
2.	エラーメッセージ対応一覧	18
	(1) ダイアログメッセージ	18
	(2) メッセージ欄	19

第1章 はじめに

1. パソコンの動作環境

本プログラムで磁気媒体届書にパスワードを設定するためのパソコンの動作環境を示します。

(1) ハードウェア環境

- ・ CPU／メモリ : OS の動作環境に準ずる
- ・ 画面 : 解像度 1024 ドット×768 ドット以上を推奨
フォントサイズは小さいフォント※
- ・ プリンタ : A 4 用紙が出力できるプリンタ

※ フォントサイズの変更手順は以下の通りとなります。

Windows Vista の場合

「コントロールパネル」内の「デスクトップのカスタマイズ」から「個人設定」を選択し、「フォントサイズ(DPI)の調整」にて「規定のスケール(96DPI)」と設定します。

Windows 7 / 8 / 8.1 の場合

「コントロールパネル」内の「デスクトップのカスタマイズ」から「ディスプレイ」を選択し、「小・100%(規定)」と設定します。

なお、変更すると Windows の再起動が必要となる場合があります。

Windows 10 の場合

デスクトップ画面にて右クリックメニューから「ディスプレイ設定」を選択し、「150% (推奨)」を設定します。

なお、変更するとアカウントのサインアウトが必要となる場合があります。

(2) ソフトウェア環境

- ・ OS : 以下の OS については動作確認済み※
 - Windows Vista Business (SP2 以上)
 - Windows 7 Professional (SP1 以上)
 - Windows 8 Pro
 - Windows 8.1 Pro
 - Windows 10 Pro

※ 上記 OS 環境での動作確認は行っておりますが、ご使用の PC 環境によっては、動作できないことがあります。

(3) その他

当プログラムで対応可能な媒体は以下のとおりです。

表1 対応可能な媒体

対応する媒体	規定事項
CD・DVD	CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW の媒体 ・書き込み方式はディスクアットワンス方式 ・フォーマット形式はISO9660形式

<商標に関する表示>

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

2. ご利用方法

媒体データパスワード設定プログラムのインストール、アンインストールは、管理者権限を持つユーザのみが実行可能です。

(1) インストールする

媒体データパスワード設定プログラムのインストールは、以下の操作で行います。

- ① ホームページよりダウンロードしたファイル（PWSetXXXX.exe）をダブルクリックするとインストール開始画面が表示されます（図 1-1）。

※ XXXXの数字はバージョンにより異なります。

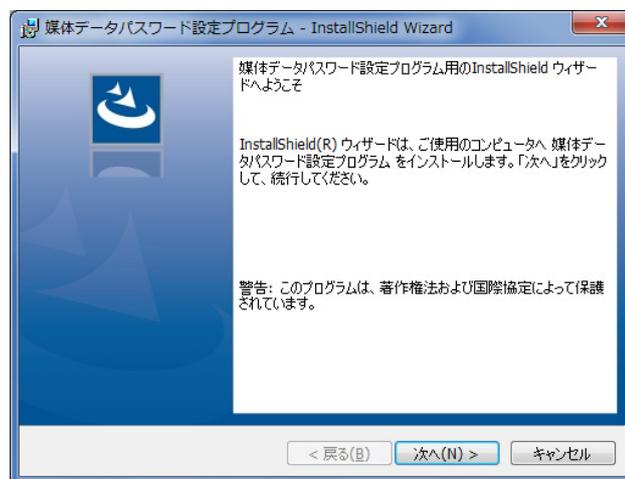


図 1-1. インストール開始画面

※Microsoft .NET Framework4.0 以上のインストールがされていない場合、先に「Microsoft .NET Framework4.0 Full」のインストール画面（図 1-2）が表示されますので、画面に従ってインストールをしてください。その後、媒体データパスワード設定プログラムのインストール画面（図 1-1）が表示されます。

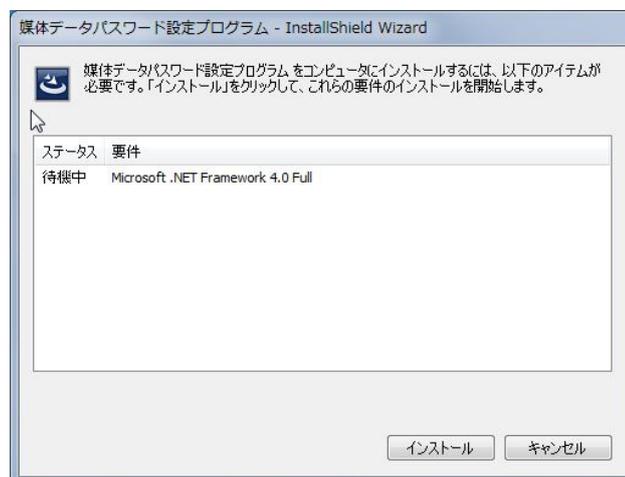


図 1-2. 「Microsoft .NET Framework4.0 Full」のインストール画面

- ② 一般ユーザの場合、インストール実行中に管理者アカウントのパスワード入力を求められます。（図1-3）



図1-3. パスワード入力（例）

- ③ その後、画面の指示に従ってインストール作業を進めていくと、デスクトップ上に「社会保険届書 PW 設定 Ver. 1.00」アイコンが作成されます（図1-4）。



図1-4. デスクトップ画面（例）

- ④ 以上でインストールは終了です。
「社会保険届書 PW 設定 Ver. 1.00」アイコンをダブルクリックするとプログラムが起動されます。

(2) アンインストールする

媒体データパスワード設定プログラムのアンインストールは、以下の操作で行います。

Windows Vista/7/8/8.1 の場合

① (Windows Vista/7)

デスクトップ画面の左下にある[スタート]ボタンをクリックした後に、[コントロールパネル]をクリックします。

(Windows 8/8.1)

デスクトップ画面の左下にある Windows マークを右クリックし、表示されたメニューで[コントロールパネル]をクリックします。

②コントロールパネル画面から [プログラムと機能] をクリックします。

③ [プログラムと機能] 画面で、「媒体データパスワード設定プログラム」を選択し、[アンインストール(U)] をクリックします。

④確認ダイアログで [はい(Y)] ボタンを押下すると、アンインストールが開始されます。

※アンインストール時には「ユーザーアカウント制御」画面 (図 1-5) が表示されます。

◆管理者アカウントの場合

「はい」または「許可」をクリックしてください。

◆標準ユーザーアカウントの場合

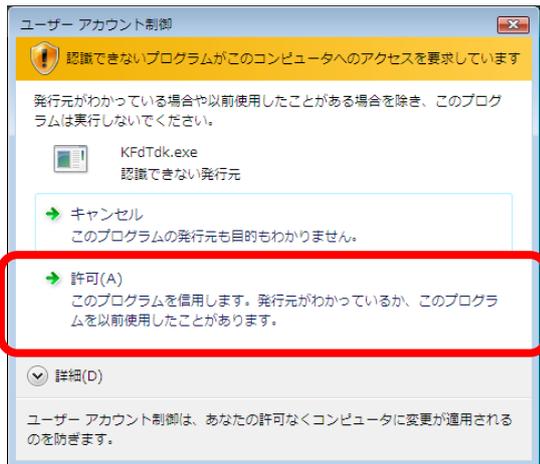
管理者アカウントのパスワードを入力し、「はい」または「OK」をクリックしてください。

「いいえ」または「キャンセル」をクリックすると、アンインストールを中止します。

⑤以上でアンインストールは終了です。

Windows Vista

◆管理者アカウント



◆標準ユーザーアカウント

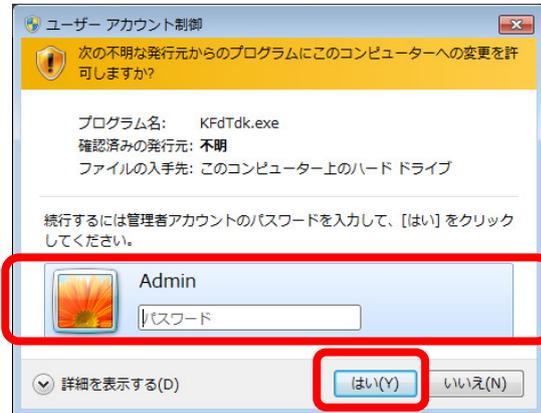


Windows 7

◆管理者アカウント

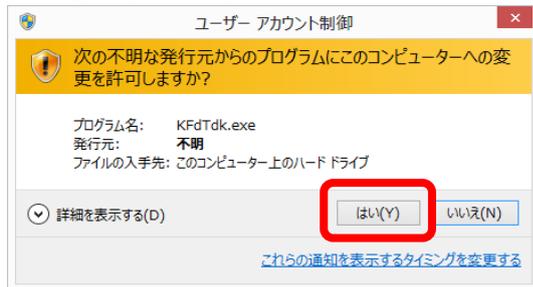


◆標準ユーザーアカウント



Windows 8 / 8.1

◆管理者アカウント



◆標準ユーザーアカウント



図 1 - 5. ユーザーアカウント制御画面

Windows 10 の場合

- ① デスクトップ画面の左下にある[スタート]ボタンをクリックした後に、[アプリと機能(F)]をクリックします。
- ② [アプリと機能]画面で、「媒体データパスワード設定プログラム」を選択し、[アンインストール]をクリックします。
- ③ 確認ダイアログで [アンインストール] ボタンを押下すると、アンインストールが開始されます。

※アンインストール時には「ユーザーアカウント制御」画面（図1-6）が表示されます。

◆管理者アカウントの場合

「はい」をクリックしてください。

◆標準ユーザーアカウントの場合

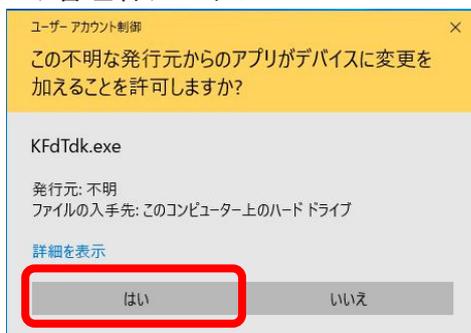
管理者アカウントのパスワードを入力し、「はい」をクリックしてください。

「いいえ」をクリックすると、アンインストールを中止します。

- ④ 以上でアンインストールは終了です。

Windows 10

◆管理者アカウント



◆標準ユーザーアカウント

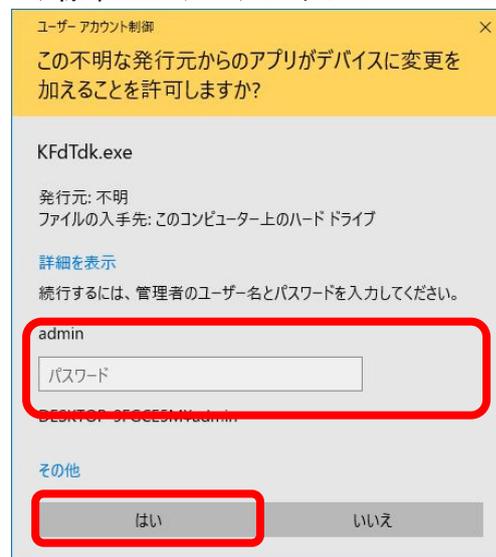


図 1-6. ユーザーアカウント制御画面

(3) 起動と終了

① 起動する

パソコンのデスクトップ画面（図1-6）で「社会保険届書 PW 設定 Ver. 1.00」アイコンをダブルクリックしてください。

媒体データパスワード設定プログラムが起動され、メイン画面（図1-7）が表示されます。



図1-6. デスクトップ画面（例）

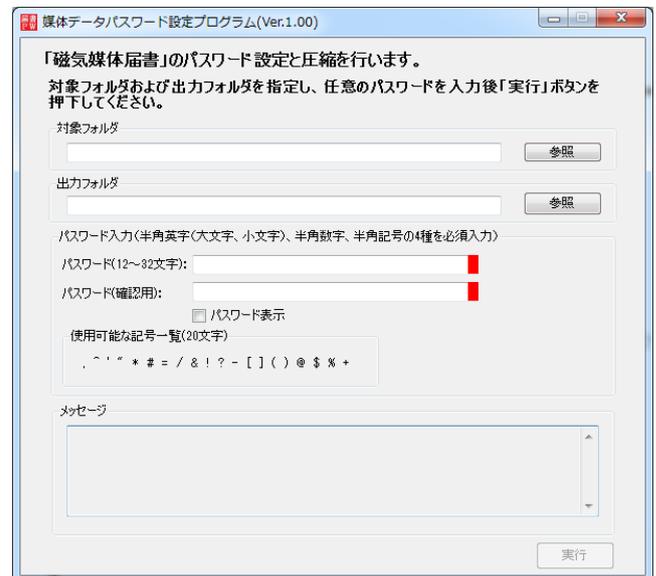


図1-7. メイン画面

② 終了する

メイン画面（図1-7）でウィンドウ右上の[×]ボタンを押下すると、媒体データパスワード設定プログラムが終了します。

(4) その他

本プログラムおよびドキュメント等は、プログラムの修正等の理由により連絡することなくバージョンアップします。

最新情報については、日本年金機構ホームページを参照願います。

第2章 媒体データパスワード設定の流れ

1. 媒体データパスワード設定の流れ

作成した磁気媒体届書ファイルの暗号化を行う際の作業の流れを以下に示します。

* 以降、本プログラムにおいて、「パスワード設定処理を施す」動作を「暗号化」と表記します。



第3章 媒体データを暗号化する

1. 暗号化の対象ファイル

本プログラムで暗号化を行う対象ファイルを以下に示します。

以下に記載のないファイルの場合、暗号化はされません。

表3-1. 暗号化の対象ファイル一覧

項番	ファイル識別名	暗号化後 ファイル識別名	ファイル名
1	SHFD0006.CSV	SHFD0006(CSV).zip	年金事務所向け届書ファイル
2	SHFD0006.TXT	SHFD0006(TXT).zip	
3	KPFD0006.CSV	KPFD0006(CSV).zip	健康保険組合向け届書ファイル
4	KPFD0006.TXT	KPFD0006(TXT).zip	
5	KNFD0006.CSV	KNFD0006(CSV).zip	厚生年金基金向け届書ファイル
6	KNFD0006.TXT	KNFD0006(TXT).zip	
7	shutoku.csv	shutoku(CSV).zip	雇用保険向け電子媒体届書ファイル
8	shutoku.txt	shutoku(TXT).zip	
9	10101-shutoku.csv	10101-shutoku(CSV).zip	雇用保険向け CSV 形式届書ファイル
10	10191-soshitsu.csv	10191-soshitsu(CSV).zip	
11	10106-tenkin.csv	10106-tenkin(CSV).zip	
12	10702-bango.csv	10702-bango(CSV).zip	

2. 各項目を入力する

本プログラムは、メイン画面（図3-1）にて入力された各項目に従ってファイルの暗号化を行います。入力項目一覧（表3-2）に従い、メイン画面（図3-1）の各項目に入力をしてください。

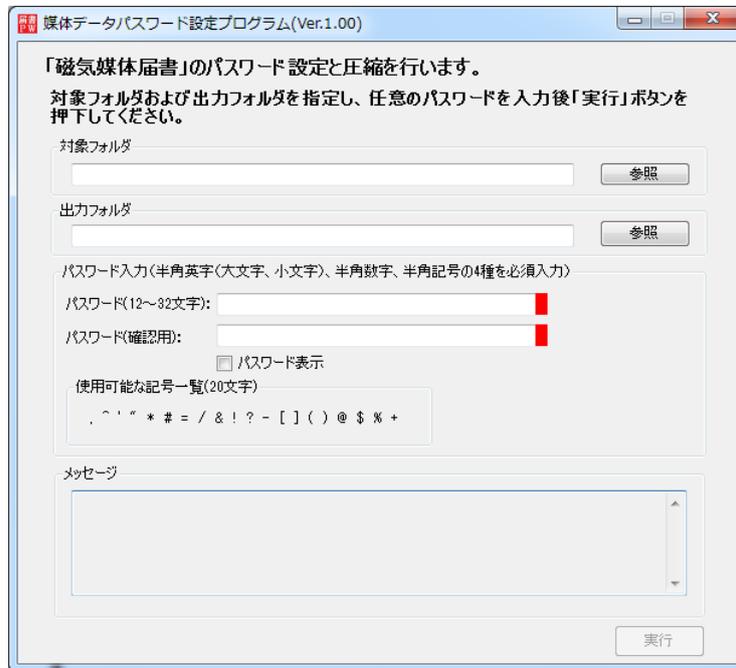


図3-1. メイン画面

表3-2. メイン画面の入力項目一覧

項番	項目名	種別	入力内容
1	対象フォルダ	数字 英字 カナ 漢字 記号	暗号化の対象となるファイルが格納されているフォルダを設定する 対象フォルダ入力欄の右にある[参照]ボタンを押すとフォルダ選択画面が表示され、フォルダを選択するとパスが入力欄に設定されます 直接、文字で入力することも可能です
2	出力フォルダ	数字 英字 カナ 漢字 記号	暗号化したファイルの出力先となるフォルダを設定する 出力フォルダ入力欄の右にある[参照]ボタンを押すとフォルダ選択画面が表示され、フォルダを選択するとパスが入力欄に設定されます 直接、文字で入力することも可能です

項番	項目名	種別	入力内容
3	パスワード(12~32文字)	数字 英字 記号	以下の条件を満たす任意のパスワード文字列を設定する <ul style="list-style-type: none"> 文字数が12文字以上 半角英字(大文字、小文字)、半角数字、使用可能な半角記号の4種すべてを含んでいる [使用可能な半角記号] , ^ ‘ “ * # = / & ! ? - [] () @ \$ % +
4	パスワード(確認用)	数字 英字 記号	パスワード(12~32文字)に設定した文字列と同じ文字列を設定する

■パスワードの入力について

パスワード(12~32文字)および、パスワード(確認用)は入力中に入力文字列が条件を満たしているかのチェックを行います。

パスワード文字列の条件を満たしていない場合は、入力欄の右端が赤色(NG)となり、パスワード文字列の条件を満たした場合に緑色(OK)を表示します。

パスワードNG(図3-2)の場合は、入力カーソルを他の欄に移動した際にメッセージ欄にNGの詳細が表示されます。パスワード確認用不一致(図3-3)、パスワードOK(図3-4)の場合は、メッセージ欄への表示はありません。

図3-2. パスワード NG

図3-3. パスワード 確認用不一致

パスワード入力(半角英字(大文字、小文字)、半角数字、半角記号の4種を必須入力)

パスワード(12~32文字): ***** OK

パスワード(確認用): ***** OK

パスワード表示

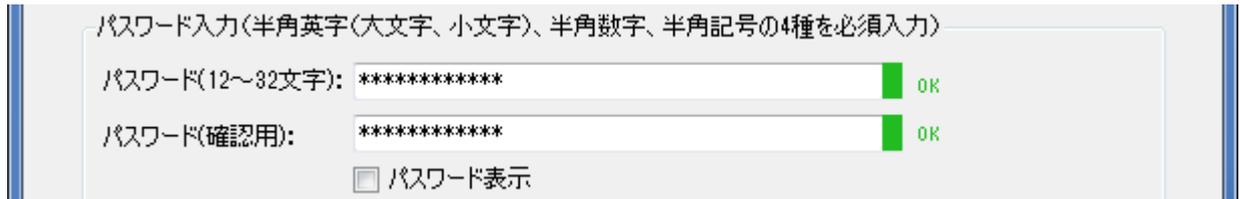


図3-4. パスワード OK

※パスワード表示チェックボックスにてパスワードの表示状態を変更できます。

チェックあり : 入力した文字列をそのまま表示 (コピー可)

チェックなし : 入力した文字列を“*”で表示 (コピー不可)

3. 暗号化を実行する

メイン画面（図3-1）で「実行」ボタンを押下すると、指定された対象フォルダ内にある処理対象ファイル（表3-1）の暗号化を行います。

その際、出力フォルダ直下に「日付_連番」（yymmdd_nnn 例：150901_001）のフォルダを作成し、作成したフォルダ配下に対象フォルダと同じ階層のフォルダを作成して、パスワード設定後のファイルを格納します。以下に暗号化の際のファイル格納例を示します。

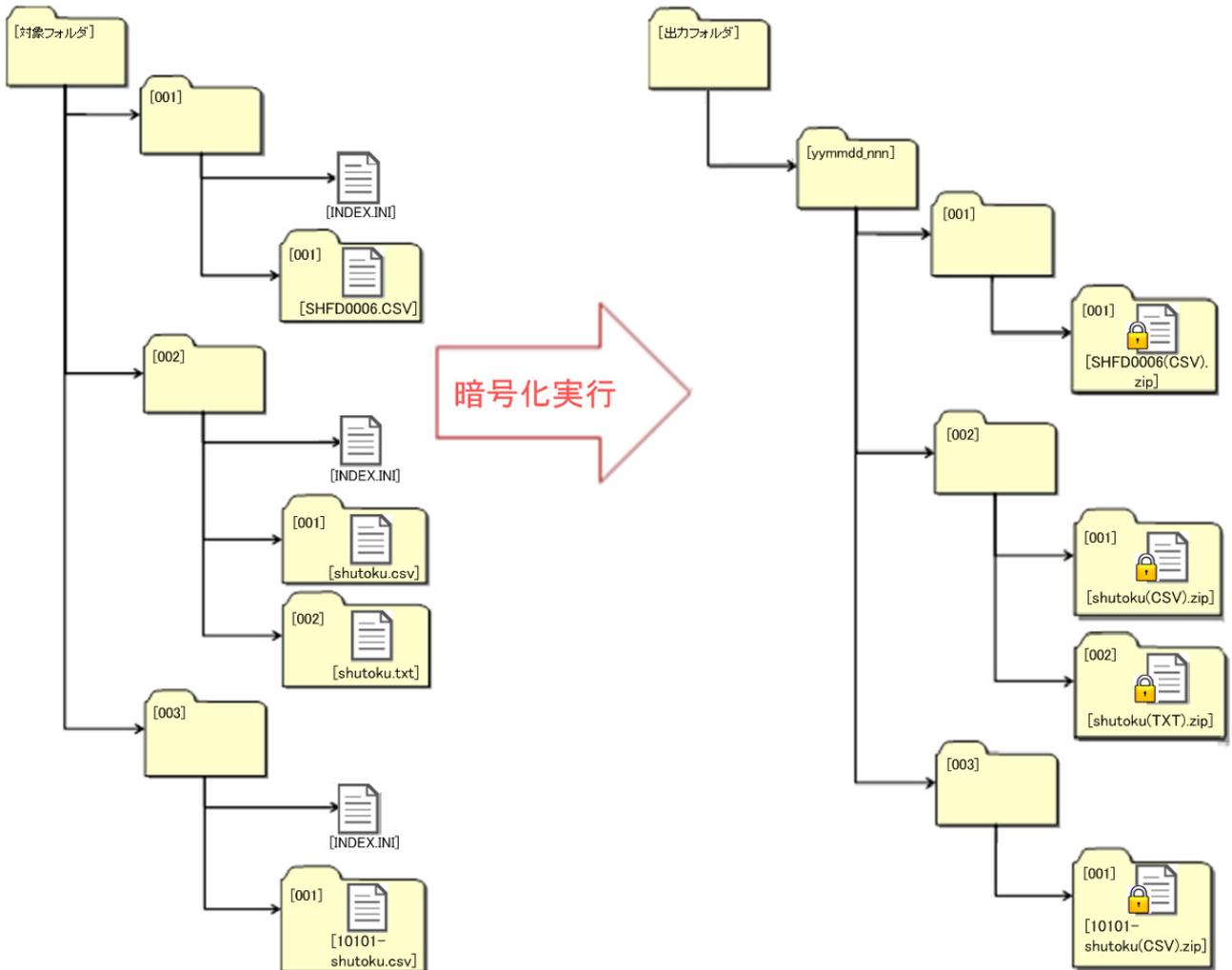


図3-5. 暗号化実行時のフォルダ作成イメージ

暗号化が終わるとその旨のメッセージ（図3-6）が表示されます。[OK]ボタンを押すと、メイン画面（処理後）（図3-7）へ戻ります。

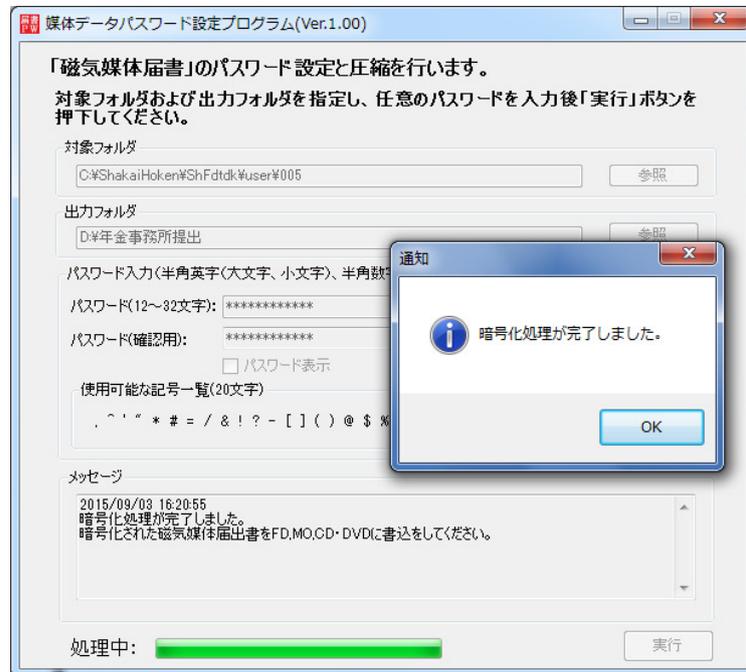


図3-6. 暗号化完了メッセージ

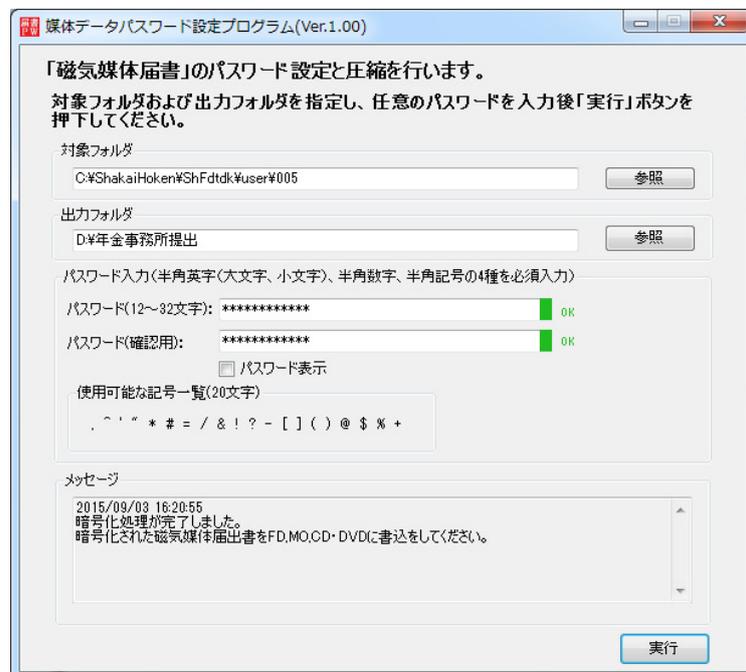


図3-7. メイン画面（処理後）

第4章 こんなときは

1. Q&A

Q1-1

Macintosh で使用可能ですか？

A1-1

第1章 1 パソコンの動作環境にあるように、Macintosh で使用することはできません。

Q1-2

媒体データパスワード設定プログラム起動時に.NET Framework の初期化エラーの画面が出て起動できません。

A1-2

Microsoft .NET Framework 4 以上をインストールした後にプログラムの起動をしてください。
※本プログラムをアンインストールした後、再度インストールすることでも対応可能です。本プログラムのインストール時に Microsoft .NET Framework 4 のインストールができます。

Q2-1

エラーメッセージが出力されましたが、対応方法がわかりません。

A2-1

エラーメッセージ対応一覧を参照してください。

Q3-1

暗号化の実行をしましたが、暗号化がされなかったファイルがあります。

A3-1

第3章 1. 暗号化の対象ファイル（表 3-1）を確認してください。
ファイル識別名が異なる場合は、暗号化は実行されません。

Q3-2

CDまたはDVDへの書き込みができないのですが、どうすればよいですか？

A3-2

媒体データパスワード設定プログラムには、CDまたはDVDへの書き込み機能はありません。
別途、CDまたはDVDへの書き込みソフトがインストールされていることを確認し、出力ファイルをPCに保存した後、書き込みソフトを使用してCDまたはDVDへ書き込みを行ってください。
また、操作方法等については、使用するパソコンの書き込みソフトの操作説明書等をご確認ください。

Q3-3

暗号化したファイルの内容を確認するにはどうしたらいいですか？

A3-3

暗号化時の対象フォルダ内に元ファイルがありますので、そちらをご確認ください。

また、暗号化ファイルの元ファイルが不明な場合は、元となる磁気媒体届書を届書作成プログラムにて作成し、再度、暗号化してください。

2. エラーメッセージ対応一覧

(1) ダイアログメッセージ

エラーメッセージ	対処例
磁気媒体届書が存在しません。	対象フォルダ配下に処理対象ファイルが存在しません。暗号化の対象ファイル一覧(表3-1)を確認し、対象ファイルを格納したフォルダを指定してください。
暗号化処理が完了しました。 (一部フォルダを処理できませんでした。詳細をメッセージ欄より確認してください。)	一部のフォルダに対して処理を実行できていません。メッセージ欄に出力されたメッセージを確認してください。
「対象フォルダ」を設定してください。	「対象フォルダ」が空欄のまま実行がされました。「対象フォルダ」を設定した後に実行してください。
「出力フォルダ」を設定してください。	「出力フォルダ」が空欄のまま実行がされました。「出力フォルダ」を設定した後に実行してください。
「対象フォルダ」の入力形式が間違っています。(C:¥、¥¥~の形式を指定してください。)	フォルダの指定は C:¥、¥¥~の形式を指定してください。
「出力フォルダ」の入力形式が間違っています。(C:¥、¥¥~の形式を指定してください。)	フォルダの指定は C:¥、¥¥~の形式を指定してください。
「対象フォルダ」に入力されているパスが235バイトを超えています。	対象ファイルの格納先、もしくは、対象ファイルの格納先フォルダ名を235バイト以内となるように変更してください。
指定されたフォルダへの書込が出来ません。出力フォルダを変更してください。	「出力フォルダ」を変更してください。もしくは、「出力フォルダ」で指定したフォルダへ書き込みができるようにしてください。
出力フォルダ配下に本日作成されたフォルダの連番が999個を超えました。出力フォルダを変更してください。	「出力フォルダ」を変更してください。
「出力フォルダ」に入力されているパスが235バイトを超えています。	出力先フォルダの場所、もしくは名前を235バイト以内となるように変更してください。
磁気媒体届書の読込に失敗しました。	対象フォルダ内にある磁気媒体届書が読み込みできることを確認してください。
磁気媒体届書の出力に失敗しました。	対象フォルダ内にある磁気媒体届書が読み込みできることを確認してください。
暗号化処理に失敗しました。	対象ファイル、対象フォルダ、出力フォルダに問題がないことを確認してください。 上記に問題がない場合、本プログラムに問題がある可能性があります。プログラムの再起動をお試しいただき、改善しないようであれば、プログラムの再インストールをお試しください。

(2) メッセージ欄

エラーメッセージ	対処例
対象フォルダに磁気媒体届書が存在しないため、暗号化処理を終了します。	対象フォルダ配下に処理対象ファイルが存在しません。暗号化の対象ファイル一覧(表3-1)を確認し、対象ファイルを格納したフォルダを指定してください。
一部のフォルダを除いた暗号化処理が完了しました。 対象フォルダ配下に 235 バイトを超えるフォルダ名が存在しました。下記のフォルダパスを短縮し、再度暗号化を実行してください。 [パス名]	一部のフォルダに暗号化処理がされていません。[パス名]のフォルダを確認してください。 処理がされなかったフォルダに処理を行いたい場合は、「対象フォルダ」を短いものに変更して再度、暗号化を実行してください。 (フォルダパスは、「対象フォルダ」配下のフォルダも含めて 235 バイト以内にする必要があります。)
一部のフォルダを除いた暗号化処理が完了しました。 出力フォルダ配下に 235 バイトを超えるフォルダパスを作成しようとしてしました。対象フォルダまたは出力フォルダを短縮し、再度暗号化を実行してください。 [パス名]	一部のフォルダに暗号化処理がされていません。[パス名]のフォルダを確認してください。 処理がされなかったフォルダに処理を行いたい場合は、「対象フォルダ」または「出力フォルダ」を短いものに変更して再度、暗号化を実行してください。 (フォルダパスは、「対象フォルダ」配下のフォルダ、もしくは、「出力フォルダ」に作成するフォルダも含めて 235 バイト以内にする必要があります。)
一部のフォルダを除いた暗号化処理が完了しました。 以下に格納された磁気媒体届書が破損している恐れがあります。磁気媒体届書を確認してください。 [パス名]	一部のフォルダに暗号化処理がされていません。[パス名]のフォルダに格納された磁気媒体届書を確認してください。
磁気媒体届書の暗号化処理に失敗しました。	対象ファイル、対象フォルダ、出力フォルダに問題がないことを確認してください。 上記に問題がない場合、本プログラムに問題がある可能性があります。プログラムの再起動をお試しいただき、改善しないようであれば、プログラムの再インストールをお試しください。
パスワードが 12 桁以上となっていません。	「パスワード(12~32 文字)」に 12 文字以上入力してください。
パスワード欄に必須文字 4 種が入力されていません。(半角英字(大文字、小文字)、半角数字、使用可能な半角記号)	「パスワード(12~32 文字)」に必須文字 4 種(半角英字(大文字、小文字)、半角数字、使用可能な半角記号)すべてを含んだ文字列を入力してください。
パスワード欄に使用可能な半角記号以外の記号が含まれています。	「パスワード(12~32 文字)」に入力された文字列に使用可能な半角記号以外の記号が含まれています。使用可能な文字を入力してください。